

# ひゅーまんらいつ

Tシャツに込められた願い・・・

## エシカル消費とは…

エシカル (ethical) とは英語で「倫理的、道徳的」を意味する言葉です。近年、SDGsの広がりとともに、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動、エシカル消費が注目されています。

例えば、チョコレートや毎日身につける衣類の材料となるコットン (綿) など、私たちの身の周りにある食品や製品には、原材料が作られ、加工され、私たちの手元に届くまでにたくさんの人が関わっています。原材料の多くを生産する発展途上国には、安い賃金で働いており十分に生活することができず、貧困に苦しむ人たちがいます。その中には、労働者として働き、学校に通えない子どもが多くいるのも事実です。また、障がいのある方が働く施設でも、日用品などが製作されていますが、その収益が十分に還元されにくい現状があります。

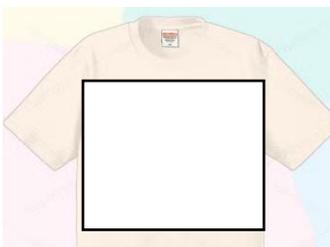
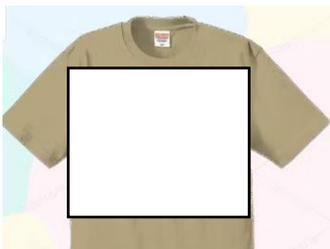
## Q. 「ぽこあぽこ」とは？

宇和島市内にある「就労継続支援B型事業所」です。障がいなどによって一般企業での就労が難しい方へ向けた、就労能力の維持や向上をサポートする施設で、就労のスキルや経験を、実際の業務を通して習得するための「生産活動」も行われています。その一環として作品の制作も行っています。他の施設に比べ、作品を制作する時間を大切に、環境を整えています。



## Q. なぜ絵をTシャツにしようと思ったか？

事業所には、誰にも真似できないエネルギー溢る芸術作品があるのに、それらのほとんどが誰の目にも触れることなく、棚にただ仕舞われているだけという現状でした。どれだけ時間をかけて丁寧に描いても、生活の糧になることもなく、作品たちは消えていく。このままではいけない。彼ら「障がい者アーティスト」が、生まれ持ったハンディキャップと闘いながら、魂を込めて生み出されたこの上なく魅力的な「作品」を大切にしたい。もっと世の中の人に知ってもらいたい、もっと多くの人に認めてもらいたい!そんな思いが芽生えました。



障がいを持つ方の中には、常に誰かが傍にいる必要があるなど、様々な理由から十分な収入を得ることが難しい状況に置かれている方が少なくありません。障がいというハンディキャップを乗り越え、作品を完成させて、どれだけ立派な賞をいただいても、彼らの生活環境の著しい好転にはなかなか繋がらないのです。

また、こうして生活をしている間にも、少しずつ症状が進行している方もいます。彼らがアーティストでいられる時間は、健常者たちのそれとイコールではないのです。私たちは、障がい者アーティストが、自らの限られた時間を使って生み出した作品を、絶対に無駄にたくありません。

彼らがアーティストでいられるうちに、そしてこの施設での幸運な環境が続けられる限り、ひとつでも多くの輝かしい作品たちがきらきらと生まれることを願ってやみません。

## <第1回人権・同和教育 HR 活動>

6月14日、第1回人権・同和教育 HR 活動が行われました。皆さんの感想をご覧ください。

1年生「私たちの人権問題Ⅰ ～よりよい人間関係をつくろう～」



- 短所をいい言葉に置き換えることで、少し自信につながったり嬉しくなったりして、気持ちが楽になりました。
- ポジティブに考えると自然に笑顔になれました。

2年生「人権の歴史に学ぶⅠ」

宇和島にも嘆願事件というものがあったのを初めて知りました。昔からの偏見で差別をしている人は正しい知識を持っていない人だと思います。そんな世界を当たり前にはいけないと思いました。



3年生「人権問題を解決するためにⅠ ～確かな進路保障のために～」



- 同じ高校生が本気を出して行動することで国を動かすことができたことに驚いた。
- 答えないと落とされるかもしれないという不安よりも、差別を絶対に許さないという一歩を踏み出す必要もあるのだと思った。

進路に関することでも差別につながることもあることに気づくことができた。また、自分を守るため、他人を守るためにももっとそのような知識をつけなくてはならないと思った。



## <つなぐ！アンネのバラプロジェクト！>

5月13日にプランターに植え替えた5本の挿し木のうち、4本がすくすくと成長し、そのうち2本にはつぼみができて無事に開花しました！毎日、人権委員が当番制で水やりを行っています。夏休み中の宇和島地区高校生交流会の際に、一株は南宇和高校に旅立つ予定です。

